

広島南支部会報

Hiroshima Nursing Association Hiroshima Minami bulletin magazine

広島県看護協会広島南支部会員数

保健師	19人(入会率 25%)
助産師	73人(入会率 96%)
看護師	2,043人(入会率 68%)
准看護師	51人(入会率 13%)
合計	2,186人(入会率 62%)

ごあいさつ

GREETING

支部長
山本 裕美

広島県看護協会広島南支部会員の皆さまには、日頃より支部活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

今年度より広島南支部支部長を務めさせていただくこととなりました。本年度は私を含め6名の役員が交代し、新たな体制のもと支部活動をスタートしております。医療や看護を取り巻く環境がますます変化し多様化する中、南支部では研修会や交流事業を通して会員相互の学びと交流を促進するとともに、地域や施設間の連携強化につながる活動を進めてまいります。

支部活動が会員の皆さまにとって身近で参加しやすく、有意義なものとなるよう努めてまいります。今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

南支部役員紹介

役員名	氏名	担当事業	役員名	氏名	担当事業
理事	佐々邊 やよい		支部長	山本 裕美	
副支部長	小玉 克美	連盟担当	副支部長	平野 智子	研究担当
幹事	三原 美和子	総務担当 (公開・地域・関連職種)	幹事	奥田 祥子	財務担当 (交流・看護広報)
幹事	隅田 恵	財務担当 (交流・看護広報)	幹事	奥田 啓子	社会経済福祉活動担当
幹事	西田 園枝	教育担当、研修事業	幹事	中山 宏美	教育担当、研究事業
幹事	根津 広美	研修事業	支部事務職員	平野 洋子	支部事務事業



南支部総会

リフレッシュ
研修会

自分のためだけにする呼吸の時間

講師 訪問看護ステーションレジナビ 杉本 有美先生

開催日：令和8年4月25日（土）

会場：広島市南区役所 別館4階 大会議室 参加者：36名

研修会を終えて

今回「自分のためだけにする呼吸の時間」の研修に参加させていただきました。日頃、常に緊張感の中で生活をしている私達にとって、意識を自分の中だけに向ける「呼吸」の時間は、驚くほど新鮮で貴重な体験でした。

リラクゼーションのための呼吸法を実践することで、自分の頭の中の忙しさが消え、脳が「脱力」という感覚を得ることができました。常に何かを考え頭の中が疲れていると感じることが多いため、意図的にリラックス状態を作る技術の有用性を実感しました。

多忙な業務の合間や1日の終わりに、今回学んだ「自分の立ち返る呼吸」を取り入れ、パフォーマンスの維持に努めたいと思います。

スタッフも同様に高い緊張感の中で働いています。休憩時間などに簡単にできる呼吸法やリフレッシュの考え方を共有し、職場全体のウェルビーイング向上に繋がっていきたいです。

県立広島病院 中山 宏美



令和8年度看護協会 南支部総会

開催日：令和8年4月25日（土）

会場：広島市南区役所 別館4階 大会議室

出席者：総数 1,622名

（内訳）出席会員数/88名 出席役員数/10名 委任状/1,524名

地域看護
事業

まちの保健室（常設型）

開催日：令和7年11月15日（土）

会場：段原ショッピングセンター

利用者集計：14名

まちの保健室に参加して

11/15「まちの保健室」に参加した。目的は、「地域住民を対象に、住民の様々な健康ニーズに関する相談等に対応し、地域住民の健康作りを支援する」であり、健康相談内容は、「地域の子供から高齢者まで世代を問わず、出産・子育て・病気及び家族の看護等様々な健康に関する相談に応じる。」事であった。ワクワクしながらどんな相談があるのか楽しみにし、頭の中ではこんな時には、こんなアドバイスしてみようとシミュレーションをしていた。

今回は子育て世代の相談は無く、高齢の方が多く、普段から気になる健康の事を話しながら、笑顔に変わる表情や、言葉の端々から苦勞されている事も感じ取れた。少しでも気分転換や健康のお役に立てればと思えた貴重な時間であった。

ヒロシマ平松病院 中田 聖子



【令和7年9月～令和8年7月のまちの保健室開催概要】

開催場所・日時

【イベント型】南区ボランティアフェスティバル／南区役所別館／10月26日（日）開催・10：30～14：00

【常設型】段原ショッピングセンター／毎月第3土曜日に開催・11：00～13：00

日付	R7 9/20	10/18	10/26 南区ボランティア フェスティバル	11/15	12/20	R8 1/17	2/21	3/21	4/18	5/16	6/20	7/18
来場者数	17名	10名	55名	14名	10名	9名	10名	9名	10名	18名	7名	11名

研究事業

看護研究発表

開催日：令和8年2月14日(土)

会場：放射線災害医療総合支援センター 4階 401研修室

参加者：50名

講師 広島大学大学院 那須 佳津美先生

座長 広島シーサイド病院 谷口 京子様

発表について

演題	発表者
演題1 循環器病棟における離床CATCH®導入前後の転倒発生率と損傷発生率の比較	県立広島病院 濱田 由香梨
演題2 人工関節置換術クリニカルパスの鎮痛剤投与変更が術後疼痛とADLに与える影響について検討	広島大学病院 肥後 郁江
演題3 手指消毒剤使用量の向上を目指した教育介入と効果	医療法人和同会 広島シーサイド病院 松本 菜々
演題4 NICU看護師が認識するきょうだい面会の現状と課題 ～アンケート調査に基づく分析～	県立広島病院 上野 美代子

(4演題：うち、サポート演題3)

研修会を終えて

看護研究お疲れさまでした。4演題ともとても興味があり参加させて頂きました。
 1題：入院時のアセスメントに沿って狭小・センサーマット・転倒むしを使用しています。日々の看護師の観察、アセスメントの重要性を再認識しました。
 2題：術前よりADLは上がって退院されますが、介護保険申請を術後にすると結果が出ず手術が決まる前からの介入が必要で外来での介護保険申請の介入をしていますが、術前に申請する必要性を納得されない方も多い現状です。
 3題：病室前の手指消毒剤を使用している職員が多く、個別使用量が少ないです。手指消毒が必要なところにポスターを掲示する方法を取り入れたいと思いました。
 4題：感染対策で難しいと思っていましたが、実施すべきとの回答が86%と面会は家族の絆・児の成長発達に重要と理解され、問題点をみつけ、今後も継続できる看護研究だと思いました。業務の間で集まって病棟や病院全体で取り組むことは大変なことと思います。素晴らしい研究発表ありがとうございました。

山本整形外科病院 高橋 恭子



組織強化
研修会

広島県看護協会の動向

講師 広島県看護協会南支部理事 佐々邊 やよい

開催日：令和8年1月24日(土)

会場：広島市南区役所 別館4階 大会議室

参加者：26名

「医療・介護現場で看護職が巻き込まれやすいトラブルPART10」 ～パシエントハラスメントの対応法・実践方法

講師 前川・影戸法律事務所 弁護士 前川 秀雅先生

研修会を終えて

この度研修を受講し、職員間だけではなく患者や家族からのハラスメントへの対応について深く理解することが出来ました。特にSNSへの書き込みによる名誉毀損や、証拠確保を目的とした無断録画・録音といった、現代的な課題は、現場の誰もが直面している深刻な問題であると感じました。患者の不安や防衛本能がある一方で、医療従事者のプライバシー保護も重要であると再認識しました。安心して働ける環境を整えることが、結果として看護職員一人一人が心にゆとりを持って、患者と向き合う事に繋がるのだと感じました。

今回の研修は、自分自身の身を守る術を学ぶと同時に、患者・スタッフに対して敬意を持って接するという看護の本質を再確認する貴重な機会となりました。学んだ法的知識や対応スキルを、臨床現場で具体的に実践していきたいです。 特定医療法人広島厚生会 広島厚生病院 渡辺 竜次



救急蘇生
研修会

救急蘇生(初級コース)

講師 県立広島病院ICLS認定インストラクター 松村 亮汰先生

インストラクター 黒川 良也さん 森下 喬道さん 松本 恵美さん

開催日：令和7年10月11日(土)

会場：広島市南区役所 別館4階 大会議室

参加者：9名

研修会を終えて

本研修にインストラクターとして参加させていただきました。病院や訪問看護ステーションなど所属施設は様々でしたが、いざというときに心停止の対応ができるようになりたい、心肺蘇生について改めて知識・技術の再確認をしたいという受講者が多かったです。受講者の職場環境なども踏まえて、心停止の患者を発見した時にどのように行動すればいいか、具体的な場面も想定しながら実技演習をさせていただきました。

受講者の皆様からも積極的に質問をいただき、メモをとるなど、意欲的に学ばれていて、とても嬉しく感じました。心停止になった方が一人でも多く社会復帰に繋がるよう、さらに多くの方に研修を受講してもらいたいと思いました。

広島大学病院 森下 喬道



社会経済
福祉研修会

リフレクションで人を育て職場を変える

講師 県立広島大学保健福祉学部保健福祉学科 教授 奥田 玲子先生

開催日：令和7年11月15日(土)
会場：南区民文化センター 3階
大会議室
参加者：24名

研修会を終えて

研修では奥田先生のリフレクションについて、参加者同士で意見を出し合う参加型の形式で進められたことで、より理解が深まり、有意義な時間となりました。演習では、自分の感情や判断の背景を丁寧に言語化することで、相手の気づきを促す対話の力を実感しました。忙しい業務の中でも立ち止まり、経験年数に関係なく互いに会話し相談しあえる関係性を育てることの大切さを改めて感じました。今回の学びを活かし、リフレクションが自然に行われる職場づくりにつなげていきたいと思います。

県立広島病院 青木 由紀

看護広報
事業

進路相談会

開催日：令和8年7月24日(金)
会場：県立広島病院
参加者：32名

研修会を終えて

7月にふれあい看護体験・進路相談会を開催しました。参加者の皆さんには病棟見学のほか、聴診器や車いす、赤ちゃん(人形)を用いた体験を通して看護師の仕事に触れていただきました。見学や体験中は看護師へ積極的に質問する姿が見られ、進路相談でも看護の仕事や魅力について多くの質問が寄せられました。

また、看護師の体験談に熱心に耳を傾け、「働く姿を具体的にイメージできた」「看護師の役割への理解が深まった」といった声も聞かれました。参加者の皆さんが終始意欲的に取り組む姿が印象的でした。今回の経験が今後の進路選択の一助となれば幸いです。

県立広島病院 奥田 啓子

【その他の開催施設】

日 時	開催病院	内 容	参加者
6月26日	広島大学病院	・「キラリ! 看護のシゴト」視聴 ・看護体験 ①呼吸音聴取体験 ②視覚障害の体験 ③病棟見学 ・体験振り返り・看護師との交流・意見交換	35名
7月24日	県立広島病院	・病院の概要について ・看護体験・病棟見学 ・進路相談	32名
7月30日	ヒロシマ平松病院	・病院の概要について ・看護体験 ①BLSトレーニング ②手洗いチェック・PPE ・看護師との交流・進路相談・意見交換	5名
8月7日	シーサイド病院	「キラリ! 看護のシゴト」視聴 病棟について看護体験 他	4名



交流事業

交流会

講師 Candle Lume広島 リラクゼーションサロン 池田 麻衣子先生

開催日：令和7年9月27日(土)
会場：広島県健康福祉センター
参加者：12名

研修会を終えて

職場の上司からの勧めで、今回娘2人と一緒に交流会に参加させていただきました。いろいろな色のろうそくや飾り、お花、実など、たくさんの素材のなかから、好きなものを選んで飾っていきましました。参加者の皆様それぞれが楽しそうに自分の好きなものを選んでいき、個性的なオンリーワンのキャンドルが出来上がりました。完成した後に、周りを覆っていた紙をはがしてろうそくの全体が現れた時の、参加者の方々の感激した表情がとても印象的でした。

今回、アロマオイルの効果や特徴についても講師の先生に教えていただきました。香りを感じる嗅覚や、外観からものの印象を捉える視覚、素材の手触りといった触覚など、看護の情報収集の基本である感覚が、ものづくりを通して豊かになった気がします。ぜひまた参加したいです。ありがとうございました。

広島大学病院 阿部 朋子



編集後記

平素より、広島県看護協会南支部の活動にご協力いただき、誠にありがとうございます。毎年、役員の交替がある中で、新しい役員の皆さまと情報交換を重ねることができると、いつも楽しみにしております。私は南支部だよりの広報係として5年間担当し、来年度で3期を終え、次の方へバトンを渡す予定です。南支部の役員をお受けするまでは、自院という枠の中で活動することが当たり前でしたが、他施設・他病院の皆さまと関わる機会を得たことで視野が広がり、社会貢献につながっていると実感しております。大変貴重で、得るものの多い役割だと感じております。さて、南支部だよりは昨年度より発行時期を3月から9月へ変更し、今回も無事に発行する運びとなりました。これもひとえに支部役員の皆様のご協力の賜物であり、深く感謝申し上げます。次年度の発行に向けても尽力してまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

南支部事務員在室日

火・水・金
8:30~12:30

(但し、都合により変更となる場合があります)



【発行日】令和8年9月発行

【発行所】公益社団法人広島県看護協会 広島南支部事務所
〒734-0001 広島市南区出汐1丁目11-4 シェソワ出汐107号室
TEL/FAX:082-254-4794 E-mail: s-minami@nurse-hiroshima.or.jp

【発行責任者】山本 裕美